



学校図書館実践事例集

本と子どもをつなぐ学校図書館 ～西原町立坂田小学校～



児童生徒が気軽に 訪れる図書館づくり



本が好きな子にも、そうでない子にも図書館に行けば何か楽しいことがある！と思わせるような取組を紹介します。

Ⅰ 掲示物の工夫



■子どもたちや先生方との手作り展示物

本の世界に迷い込んだような不思議な空間…。そんな演出にあふれた掲示物に引き寄せられます。すべて手作りでです。



ハリーポッター好きの職員と一緒に作成したコーナーには、暖炉と書棚がつくられ、ハリーポッターの世界観が表現されています。絵本コーナーでは、大きな樹木が子どもたちを優しく見守ります。そうかと思えば恐竜がギラっとした目でこちらをにらんできて、その迫力に一瞬びくつとします。図書館が別世界への入り口のようにワクワクします。



児童の手作り
ですよ♪

2 イベントの企画・実施

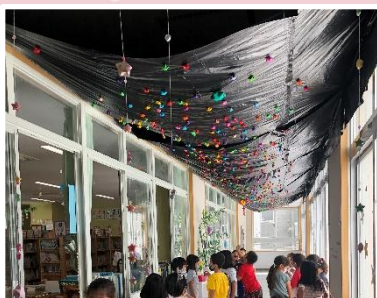


■イベントを実施することで「図書館は楽しいところ！」を演出する

読書旬間、読書週間、読書月間など、各学校でもさまざまな図書館イベントを実施していると思いますが、ここでは一工夫されたアイデアを紹介します。

1 学期

図書委員会企画七夕イベント『星にねがいを』開催



図書館横の廊下天井に作った天の川に星を投げてくっいたら願い事がかなうかも?! 毎年恒例の企画で、今年も全校児童分の約900個の星づくりを図書委員ががんばりました。

図書委員会作成「夏だ! 怪奇心霊図書コーナー」の設置



ミニミニ怖い本



子どもたちは「怖いお話」が大好きです。「今年の怖い本のコーナーは、おばけ屋敷風お化け屋敷風にしてみたいな」という司書の一声に、図書委員会の子どもたちが、自発的に動いて完成したのがこちらです。

蛍光灯にセロハンを貼って雰囲気を出したり、限りがあつた「怖い本」を借りることができなかった児童のために手作りの「ミニミニ怖い本」(自由にもらえる!)を作成したりと大活躍!

怖い本コーナーは、密をさけるため一度に4人までとルールを決め図書委員が管理を行いました。

2 学期

『年末ジャンボ宝くじ』の開催



今年も一年間コロナ禍の中、たくさんの我慢をしながら頑張った児童のみなさんに楽しんでもらうために開催した年末ジャンボ宝くじ。当選した児童が商品を引き換えにきました。図書委員さんたちは、大忙しです。感染予防のため、窓をあけて寒い中での作業をがんばりました。

3 学期

新年貸出スタート 本を借りて図書委員会手作りおみくじをひこう!



おみくじを結
べるコーナー



図書館では委員会作成のおみくじを年明け最初の貸出日に子どもたちに引いてもらいました。図書館前にはおみくじを結べるコーナーを設置しましたが、「お家」に持って帰るといふ児童が圧倒的に多いのが意外でした(笑)

年間を通して3回

中学生による読み聞かせ

中学生のみなさんに5年生と6年生に向けて読み聞かせをしてもらいました。特に中学入学を控えた6年生は、憧れが混じったような表情で食い入るように聞いているのが印象的でした。読み聞かせ後は、質問タイムをまじえ楽しく意見交換をしました。



■読書月間の取組み

～主な取り組み～

- ・読書ゆうびん（クラス内のお友だちへ）
- ・読書標語（4年生～6年生）
- ・図書委員による1年生への読み聞かせ
- ・図書委員によるおすすめ本の放送紹介
- ・図書委員おススメの1冊（掲示物）

○しおりコンテスト開催



3 くつろぎスペースの設置



■「心の居場所」をつくる

学校図書館には「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての役割と、もうひとつ「心の居場所」としての役割もあります。図書館は落ち着ける場所と認識してもらうための工夫を紹介します。

空き箱でミニハウスを作成しました。扉に「あいてます」の札をかけています。中には、ぬいぐるみを置いています。

ゆったりでき
そうだなあ



言葉にするだけ
で落ち着くこと
もあるよね



図書館前に「ないしょの電話ボックス」を設置しました。「だれにも言えないモヤモヤやイライラをはきだす場所」として作りましたが、思った以上に子どもたちの反応が良く、休み時間はつねに使用されていました。低学年だけでなく、4年生、5年生も使う姿がほほえましかったです。

使用頻度の高さに何度も破損するたびに修繕して使用していましたが、現在は安全面のため泣く泣く取り外しをしました。

図書館は、本を借りたり読んだり調べ学習をするだけの場所ではありません。児童生徒が気軽に立ち寄ることが許されている場所が図書館だと考えています。「お友だちとケンカした」「何だか教室にいたくない」理由は様々ですが、そんな時「あ！図書館がある」と思ってくれたら幸いです。

ミニハウスは、クールダウンが必要な子どもたちのホッと一息つける場所になっています。また、図書館は、子どもたちの発表の場だと考えているので、館内は子どもたちの作品であふれています。どんな小さな作品でも飾ってもらえると嬉しいものです。坂田小学校では、募集をしたわけではありませんが、いつの間にかたくさんの作品が集まり、館内を賑やかに彩っています。



「坂田っ子としょかんギャラリー」には、子どもたちが書いた絵が貼られています。

児童生徒と本との 「であい」をつくる



9類に偏りがちな本の貸出し
…そこで子どもたちにより多
くの本に触れてもらうための
取組みについて紹介します。

Ⅰ コーナー等の設置

■「学び」の広がりや深まりを支援する



読書を推進するためのコーナーの設置や、学びの基礎を支援したり、発展させたりするようなさまざまなコーナーを設置している例を紹介します。

●新聞コーナーの拡張

NIE 実践指定校となったため新聞コーナーを広げ、子どもたちが座って新聞を読み比べられるよう配置をしました。



●SDGs を知ろう！

各学年で SDGs に関する様々な取り組みを行なっているので子どもたちの関心も高く、あっという間に本は貸出されました。SDGs の意味や掲げる 17 の目標を理解してもらうために遊び感覚でも使えるサイコロも作成しました。これからの厳しい時代を生きていく子どもたちのために私たち大人ももっと本気で取り組まなければならない重要課題なので、形を変えながら年間を通して展示したいと考えます。



●図書委員会テーマ展示

今年度は、図書委員22名を5グループに分け1年を通して各グループで決めたテーマをもとに本の紹介、展示を行いました。

◆第1弾テーマ「生き物」



生き物の本紹介の他、図書委員会メンバーの好きな動物紹介の掲示作成もしました。



◆第2弾テーマ「スイーツ」

手作りの小物も大好評でした。

◆第3弾テーマ「〇〇のひみつ」

いろいろな「ひみつ」に関する本を紹介しました。



ホワイトボードのクイズ
が好評でした。



◆第4弾テーマ「マンガ・アニメ・映画原作本」

紹介した本は、あっという間になくなってしまいました。

アンケート箱を設置し、アニメのキャラクターで一番好きなキャラクターに投票し最後にベスト3の発表を行いました。

◆第5弾テーマ「クイズ」

クイズやなぞなその本を揃えた
楽しいコーナーになりました。



2 平和教育の取組み 平和月間



図書館前フロアに、平和や戦争に関する図書の展示を行い、図書館横の廊下に、沖縄戦パネルと関連する掲示物を作成し、掲示を行いました。毎年、平和月間期間中の図書館での取組みには、頭を悩ませます。沖縄戦を風化させてはいけない思いと、今を生きる子どもたちとの温度差をいかに埋めるかが課題です。年度末に起きたロシアのウクライナへの侵攻は、子どもたちにも大きな衝撃を与えました。戦争が、決して過去の出来事ではないことを実感した児童が多く、図書館でも「どうしてウクライナを攻撃するの?」「第三次世界大戦が始まるの?」と、具体的な質問する子どもたちが多数いました。世界情勢を踏まえながら次年度の平和月間をどう展開していくべきかを考えさせられた出来事でした。



西原町立坂田小学校では、教育課程全体と関連付けた年間計画を作成して図書館教育に取り組み、読書冊数にとらわれず、熟読、最後まで読み切る力を育てるための工夫を行っています。図書委員会の児童を積極的に図書館運営に参加させ、図書委員会企画のイベントの開催や、図書コーナーの設置を行っています。また、児童が気軽に立ち寄り、時間を過ごせる場としての環境づくりにも力を入れています。職員との連携を密にして、行事や学年フロアで本の展示を実施するなど、常に変化を意識した運営を行っています。